

ニシゴリラの「モモコ」が出産しました！

～恩賜上野動物園と千葉市動物公園で行っている共同繁殖の成果～

千葉市動物公園から恩賜上野動物園へ共同繁殖（ブリーディングローン）のために貸し出しを行っている、ニシゴリラ「モモコ」（令和3年12月8日妊娠について発表済）が以下のとおり出産しましたので、お知らせします。

1 誕生したニシゴリラ

誕生日 令和4年（2022年）5月31日（火） 午前9時10分頃

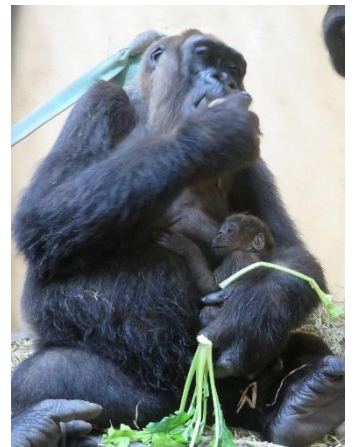
性別 不明

両親 母親：モモコ 38歳

1983年6月3日	スペイン生まれ
1990年3月29日	千葉市動物公園に来園
1999年7月27日	恩賜上野動物園に移動
2000年7月3日	モモタロウ（オス・第1子）出産
2002年7月8日	千葉市動物公園に帰還
2008年12月2日	恩賜上野動物園に移動
2009年11月14日	コモモ（メス・第2子）出産
2013年4月24日	モモカ（メス・第3子）出産
2016年10月12日	出産（子は死亡）
2017年10月9日	リキ（オス・第5子）出産

父親：ハオコ 28歳

1993年8月21日	オランダ生まれ
1996年12月6日	オーストラリア・タロンガ動物園に移動
2007年6月27日	恩賜上野動物園に移動



【モモコと赤ちゃん】
（撮影日：2022年5月31日）

2 現在の様子

室内で母親の「モモコ」が赤ちゃんを抱いた状態で落ち着いて過ごしています。赤ちゃんはしっかりと「モモコ」に抱き着き、ときどき鳴き声も聞こえます。

群れの他の個体は落ち着いており、父親である「ハオコ」や他4頭のゴリラが距離を置いて見守っています。

3 出産までの経過

野生のゴリラは群れで生活する動物のため、恩賜上野動物園ではシルバーバックのオス「ハオコ」を中心として、メスの「トト」、「モモコ」、「コモモ」、「モモカ」、オスの「リキ」の6頭でゴリラの群れをつくって飼育を行っています。

5月31日午前8時30分頃、群れの他のゴリラが「モモコ」の近くに集まって見守る

様子があつたことから、出産が始まったと推測されます。午前 9 時 10 分には赤ちゃんの姿が確認されました。出産直後には「モモコ」が赤ちゃんを舐める様子があり、その後は抱きながら室内を移動する行動や、うつ伏せで赤ちゃんを覆う行動も見られています。

4 公開について

母子の状態は安定し、群れの他の個体も落ち着いていますが、本日は展示を中止しています。展示再開時期の判断のため、母子や群れの状態の慎重な観察をおこなっています。

5 国内の飼育状況（2020 年 12 月 31 日現在）

日本国内の飼育状況：6 園 20 頭（オス 10 頭、メス 10 頭）

資料：2020 年ニシゴリラ国内血統登録台帳【（公社）日本動物園水族館協会】

【参考】

●ニシゴリラ（霊長目 ヒト科）

（ワシントン条約附属書 I、IUCN レッドリスト：CR（近絶滅種）、東京都ブーストック種）

学 名 *Gorilla gorilla gorilla*

英 名 Western Lowland Gorilla

分 布 コンゴ、ガボン、カメルーンなどの熱帯林

生態等 頭胴長は 150～170cm、体重は 90～180kg。体色は黒色が基本ですが、褐色や灰色がかっていることが多く、オスは頭の毛が赤茶色の個体が多くいます。成獣のオスは、背中から太股にかけて体毛が白くなる「シルバーバック」になります。シルバーバックのオス 1 頭にメス数頭とその子どもたちからなる 10 頭前後の群れで生活しています。アフリカショウガやクズウコンなどの草木の他、果物、昆虫も食べます。

西アフリカで、約 31 万頭以下が生息していると推測されていますが、生息環境の破壊、病気、狩猟、気候変動で減少の危機にさらされています。